

三六

立案 昭和七年三月廿七日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍大佐山隈和喜人位階追
陞ノ件

命令三月廿一日
昭和七年三月廿一日
裁可一月十二日達
臺帳記入月 日官報報告済

宮内省

裏面白紙

239



故海軍大佐山隈和喜人位階追陞ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十七年二月二十六日

内閣總理大臣東條英機

内

閣

裏面白紙

海位第八九號

案起 昭和十七年二月二十五日

裁可 昭和十七年二月二十六日 施行

決定 昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍大佐山隈和喜人位階追陞

ノ件

辭令案

例文

一月十二日付

内閣

海軍 八九号

(美濃全書十行罫紙)

叙正五位 昭和十七年一月十二日死亡 故海軍大佐從五位 山 隈 和喜人

大正十年六月一日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ノ二ニ依リ
謹テ 奏ス

昭和十七年二月二十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



海 軍

242

海秘人第一九三號

昭和十七年二月二十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

故海軍大佐山隈和喜人ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ
任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處ボルネオ方面ニ於テ
作戰ニ從事中一月十二日戦死候ニ付テハ特ニ位一級

海軍

被追陞度別紙上奏書進達ス

(終)



丙 秘 第一九三號

(英濃全葉十行紙)